

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版
(仮称)京都御池ホテル 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-京都-建築(新築)2018年

■評価ソフト: CASBEE 京都-新築2018 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点 重み係数	住居・宿泊部分 評価点 重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質						3.1			
Q1 室内環境						2.9			
1 音環境				3.4	0.15	3.2	1.00	3.3	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				5.0	0.40	3.6	0.40		
1 開口部遮音性能			T-2以上	5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			L-45	3.0	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	2.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				2.0	0.35	2.6	1.00	2.3	
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.0	0.25	3.3	1.00	2.8	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率			●自然 A(全国版準用)	客室:1.64%	1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口					-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備			●自然 B(推奨内容)		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策					1.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御			●自然 B(推奨内容)		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				4.0	0.25	3.7	1.00	3.8	
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63		
1 化学汚染物質				5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	1.6	0.38		
1 換気量				5.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能			●自然 A(全国版準用)		3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.7	
1 機能性				2.5	0.40	2.3	1.00	2.3	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.5	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	1.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	4.0	0.50		
3 バリアフリー計画			●大切 D(独自基準)		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観 (天井高)			●とも C(独自加算)		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-		
3 内装計画			●自然 D(独自基準)		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.9	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			●大切 A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				30年以上	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				20年以上	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				外部ダクトはSUSとし長寿命化を図っている	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				主要な用途上位3種の2種以上にC以上を使用	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備				2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
						3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.0	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり						-	-	2.2	0.50	
1 階高のゆとり						3.0	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ						3.0	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性						3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出						4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮						4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮, 快適性の向上						3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上						3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制						4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用						3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化						3.0	0.50	-	-	3.0
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング						3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制						3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング						3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制						3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水						4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減						2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1 消火剤						-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)						3.0	0.50	-	-	
3 冷媒						3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮						3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮						2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減						3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						1.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	1.00	-	-	
2 振動						-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						3.3	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						4.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる